

## リカバリー・カバヒコ

著者名： 青山美智子  
出版社： 光文社

新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒル。近くの公園にある古びたカバの遊具・カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説が。アドヴァンス・ヒルの住人は、悩みをカバヒコに打ち明ける。成績不振の高校生、ママ友と馴染めない元アパレル店員、駅伝が嫌な小学生、ストレスから休職中の女性、母との関係がこじれたままの雑誌編集長。みんなの痛みにやさしく寄り添う、青山ワールドの真骨頂。

## 台北アセット

著者名： 今野 敏  
出版社： 文藝春秋

警視庁公安部外事一課の倉島は、台湾の警察から研修の講師を務めるよう要請され、ゼロの研修から戻った後輩の西本と台北に向かった。そこで倉島は、サイバー攻撃を受けた日本企業の現地法人から捜査を要請されるが、その会社のシステム担当者が殺害され、日本人役員に疑いの目が向けられる。

## いまこそガーシュウィン

著者名： 中山 七里  
出版社： 宝島社

アメリカで指折りのピアニスト、エドワードは、大統領選挙の影響で人種差別が激化し、変貌しつつある国を憂い、音楽で何かできないか模索していた。そこで、3カ月後に予定しているカーネギーホールでのコンサートで、黒人音楽を愛した作曲家、ジョージ・ガーシュウィンの名曲「ラブソディ・イン・ブルー」を弾くことを思い立つ。

## 悪逆

著者名： 黒川博行  
出版社： 朝日新聞出版

過払い金マフィア、マルチの親玉、カルトの宗務総長——社会に巣食う悪党が次々と殺害される。警察捜査の内情を知悉する男vs.大阪府警捜査一課の刑事と所轄のベテラン部屋長凶悪な知能犯による強盗殺人を追う王道の警察小説（内容紹介）周到な準備と計画によって強盗殺人を遂行していく男——。大阪府警捜査一課の館野と箕面北署のベテラン刑事・玉川が、広告代理店の元経営者殺害事件を追うなか、さらに被害者と面識のある男が殺される。

## 今日も、私は生きている

著者名： 曾野 綾子  
出版社： ポプラ社

シリーズ24万部突破！ 92歳になる著者が、これまで数多くの国や地域を巡って実感した「生きること、死ぬこと」の本当の意味とは？ 富める人、貧しい人、キリスト教徒、イスラム教徒……それらの出会いで知らされた「勝ち負けのない人生」を説く。これまでの価値観を問い直す、背筋が伸びる名エッセイ集。

## 存在のすべてを

著者名： 塩田武士  
出版社： 朝日新聞出版

平成3年に発生した誘拐事件から30年。当時警察担当だった新聞記者の門田は、旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。異様な展開を辿った事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がる——。質感なき時代に「実」を見つめる、著者渾身、圧巻の最新作。

## 喫茶おじさん

著者名： 原田 ひ香  
出版社： 小学館

人生もコーヒーも、苦いけれどもまい。松尾純一郎、バツイチ、57歳。大手ゼネコンを早期退職し、現在無職。妻にはあるが、大学二年生の娘・亜里砂が暮らすアパートへ妻の亜希子が移り住んで約半年、現在は別居中だ。再就職のあてはないし、これといった趣味もない。ふらりと入った喫茶店で、コーヒーとタマゴサンドを味わい、せっかくだからもう一軒と歩きながら思いついた。趣味は「喫茶店、それも純喫茶巡り」にしよう

## マリスアングル

著者名： 菅田哲也  
出版社： 光文社

警察小説No.1ヒット！累計500万部突破の姫川玲子シリーズ最新作。塞がれた窓、防音壁、追加錠……監禁用に改築された民家で男性死体が発見された。警視庁捜査一課殺人班十一係主任、姫川玲子が特捜に入るも、証拠は隠滅されていて糸口はない。玲子の天性の勘と閃き、そして久江の心に寄り添う聞き込みで捜査が進展すると、思いもよらない人物が浮かび上がり……。魚住久江が合流し、姫川班が鮮烈な進化を遂げるシリーズ第10作！

## 続 窓ぎわのトットちゃん

著者名： 黒柳 徹子  
出版社： 講談社

国民的ベストセラー、42年ぶり、待望の続編！国内で800万部、全世界で2500万部を突破した『窓ぎわのトットちゃん』。世界中で愛されている、あのトットちゃんが帰ってくる！泣いたり、笑ったり……トットの青春記。

## 母を捨てるということ

著者名： おおたわ 史絵  
出版社： 朝日新聞出版

異常なほど娘に執着した母親。やがて彼女は薬物依存症に陥った。「いっそ死んでくれ」と願う娘と「産むんじやなかった」と悔やむ母。母に隠されたコンプレックス、そして依存症家族の未来とは。医師として活躍する著者の知られざる告白。